

社会福祉法人 照島会

令和2年度 事業実施概況報告

令和2年3月に鹿児島県内において初めての新型コロナウイルス感染者が確認されてから、令和2年度を迎えた4月には県内でも相次いで感染者が確認される事態となりました。又、全国的にも感染が拡大し、全国を対象に緊急事態宣言が発令されました。

これを受け照島会は、入居者や利用者の命と暮らしを守るため感染防止対策の徹底に取り組んで参りました。そのため創立記念式典や別府公民館との合同防災訓練等は中止いたしました。

しかし、特養やデイサービスにおいては、入居者や利用者のADL(日常生活動作)の低下防止や生活の質の維持のため感染防止対策を徹底した上で少人数での機能訓練や製作活動・レクリエーション等を実施しました。

このようなコロナ禍の中、照島会においては地域の要支援高齢者や要介護者と家族の安心安全な暮らしを支援することを最優先し各事業の推進を図って参りました。

特養は、介護福祉士の資格取得のための「実務者研修潮風園教室」を開設し、受講者のうち5名が介護福祉士の資格を取得しました。

新型コロナウイルス感染防止対策として、入居者の家族等の面会は原則禁止としリモート面会や窓越面会で対応することとし、現在も継続中であります。

8月6日から8日までの3日間にわたり施設内で感染者が出たことを想定した訓練を実施し、職員の感染防止対策の共有を図りました。

その他、ほとんどの研修会が中止となった中、リーダー会議や各種委員会を活用し、質の高いサービスの提供と向上に努めて参りました。

デイサービスセンターはコロナ禍の中、例年実施しているぶどう狩りやボランティアの受け入れは出来ませんでした。利用者が地域や家庭で生活の質を保ちながら、その人らしく生活できるようサービスの提供に努めて参りました。

支援センターのうち在宅介護支援センターにおいては、市の委託を受け在宅の要支援高齢者等の実態把握調査を行うことで在宅介護等における課題の把握や相談に応じ地域包括支援センター等と連携を図ることで、その解決に努めて参りました。

居宅介護支援事業所では、介護を必要とする人が住み慣れた地域や家庭で生きがいを持って自立して暮らせるよう支援して参りました。又、事業所内研修や他の居宅介護支援事業所との合同スキルアップ研修等を行い、質の高いケアプランの作成とサービスの提供に努めて参りました。

経営状況については、法人全体で介護保険収入は増えましたが、コロナ対策に対する補助金と職員の処遇改善に対する加算分を除くと実質は収入減となり、居宅支援事業所の移転費用やコロナ対策費用、各種修繕費用等の経費増も重なり、資金収支上は前年度より280万円少ない90万円の黒字となり、損益計算上は前年度並みの100万円の赤字となりました。

本部

1. 退職職員

久徳くりみ(特養看護師) 中里裕子(特養看護師) 平峯ちづ子(特養介護士)
原田いづみ(特養介護士) 白石ひろみ(特養介護士) 宮之原恵美子(特養介護士)
北菌由花(特養介護士) 以上7名

2. 新規採用職員

巻木はつみ(特養看護師) 尾仲圭一郎(特養介護士) 石原千恵美(特養看護師)
小瀬一久(特養介護士) 北菌由花(特養介護士) 鹿島衣美子(特養看護師)
福島智美(特養介護士) 塚田淳志(支援・介護支援専門員) 以上8名

特別養護老人ホーム

1. 介護老人福祉施設 (定員90名)

年間延べ入居利用人員	32, 215名 (令和1年度 32, 507名)
ベッド稼働率	98.06% (令和1年度 98.68%)
3月末現在平均介護度	4.22 (令和1年度 4.16)
新規入居者	24名(男性 6名・女性 18名) 退居者 24名(男性 6名・女性 18名)

2. 短期入所生活介護事業(定員10名)

年間延べ利用人員	2, 552名 (令和1年度 2, 733名)
ベッド稼働率	69.92% (令和1年度 74.67%)
年間送迎回数	1, 101回 (令和1年度 1,203回)
1日平均利用者	6. 99名 (令和1年度 7.47名)

デイサービス

1. 通所介護事業 営業日数 253日

年間延べ利用人員	4, 821名 (令和1年度 4, 465名)
1日平均	19. 05名利用(令和1年度 17.58名)

2. 介護予防・日常生活支援総合事業

年間延べ利用人員	514名 (令和1年度 845名)
1日平均	2. 03名利用(令和1年度 3. 33名)

支援センター

1. 居宅介護支援事業

◎ ケアプラン作成、継続管理

年間延べ	960ケース (令和1年度 968ケース)
月平均	80ケース

2. 在宅介護支援センター事業

◎ 実態把握

年間延べ	1, 055回 (令和1年度 1,119回)
月平均	88回

